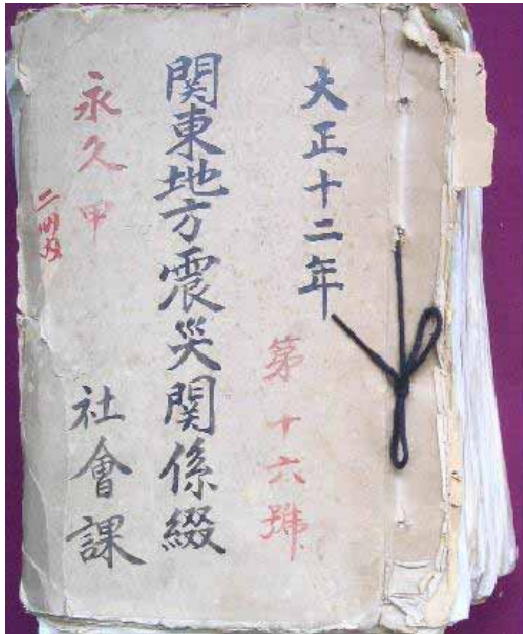


関東地方震災関係綴（大正12年）



大正12年9月1日関東地方南部を襲った大地震は、死者・行方不明者14万2千8百名、全壊建物12万8千棟、全焼建物44万7千棟と未曾有の大災害をもたらし、被害総額も当時の国家予算の1年4ヶ月分に達しました。

この様子を当時の佐賀新聞（9月2日付け）は次のように伝えています。

厄日を控江（え）て東海道大地震

一日午前十一時五十九分二十秒より大地震あり午後一時二十分に至るも大阪測候所の地震計には依然として感應してゐる右震源地は大阪を去る三百四十キロの方面で多分伊豆半島であるふ

東京横濱横須賀等は非常に損害を被ったものと察せらる振動は上下動水平動であつたが大阪方面は大した被害はないが十二時一分より三十秒の間に十三耗三に対する振動を示した。

佐賀の感震

東海道付近の地震に対して佐賀測候所の地震計は一日午後十二時十六分四十秒より午後二時に至るまで六回の微震が断續的にあつたが震源地は東北二百里の観測である。

また、9月3日「佐賀新聞（見出し）」では、一夜明けた惨状を次のように伝

えています。

有史以來曾てなき東海道地震
震災火災水害風害又一時に來る
大慘害實に言語に絶し眞に此世の生き地獄なり

歴史的な文書閲覧室で保管している大正12年の社会課所管「関東地方震災関係綴」は、関東大震災における佐賀県の対応を示すもので、主に救援関係です。

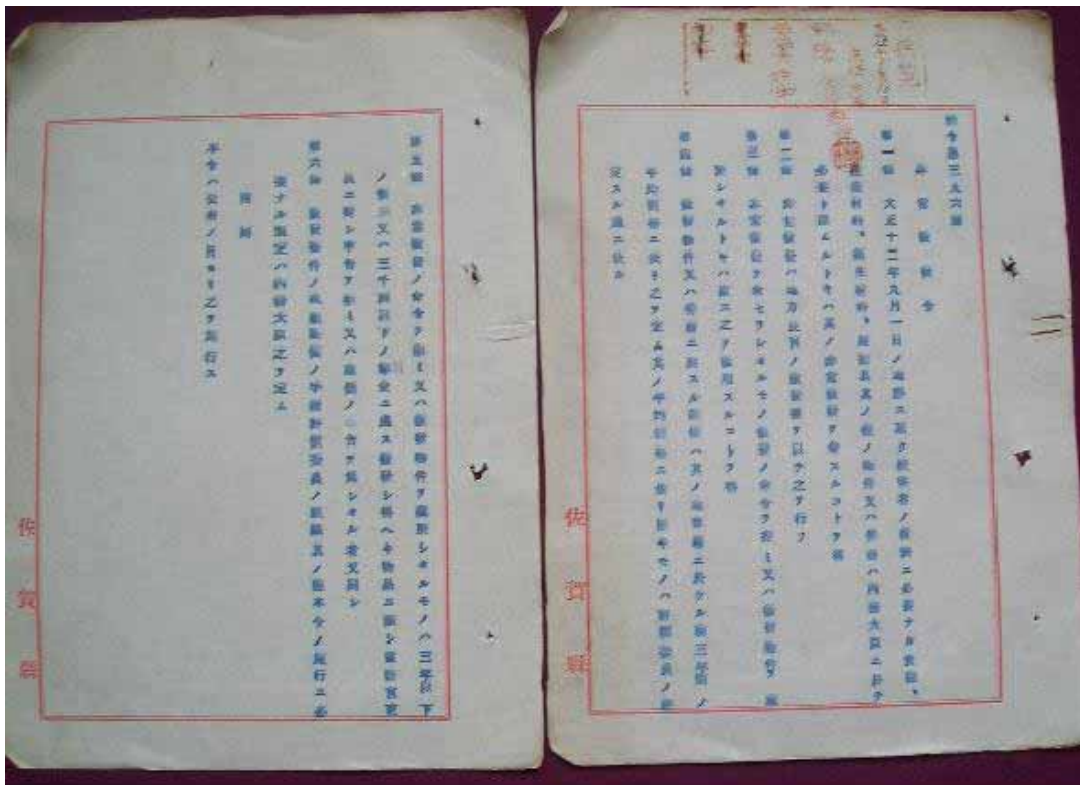
これらの文書から国や県の対応と救援要請への県民の被災地への救援活動ぶりが覗い知ることができます。

佐賀県は内務部長名で各郡市長あてに次の文書を送付（9月3日付け）しています。

関東地方災害ニ関スル件

今回ノ関東地方ノ災害ニ際シ動モスレハ流言蜚語行ハレ 為ニ人心ヲ惑乱セントスル虞有之候ニ就キテハ 此際能ク内部一般ヲ警メ輕挙盲動スルコトナク各自其業務ニ精勵候様 特ニ御配意相成度依命此段及通譯候也

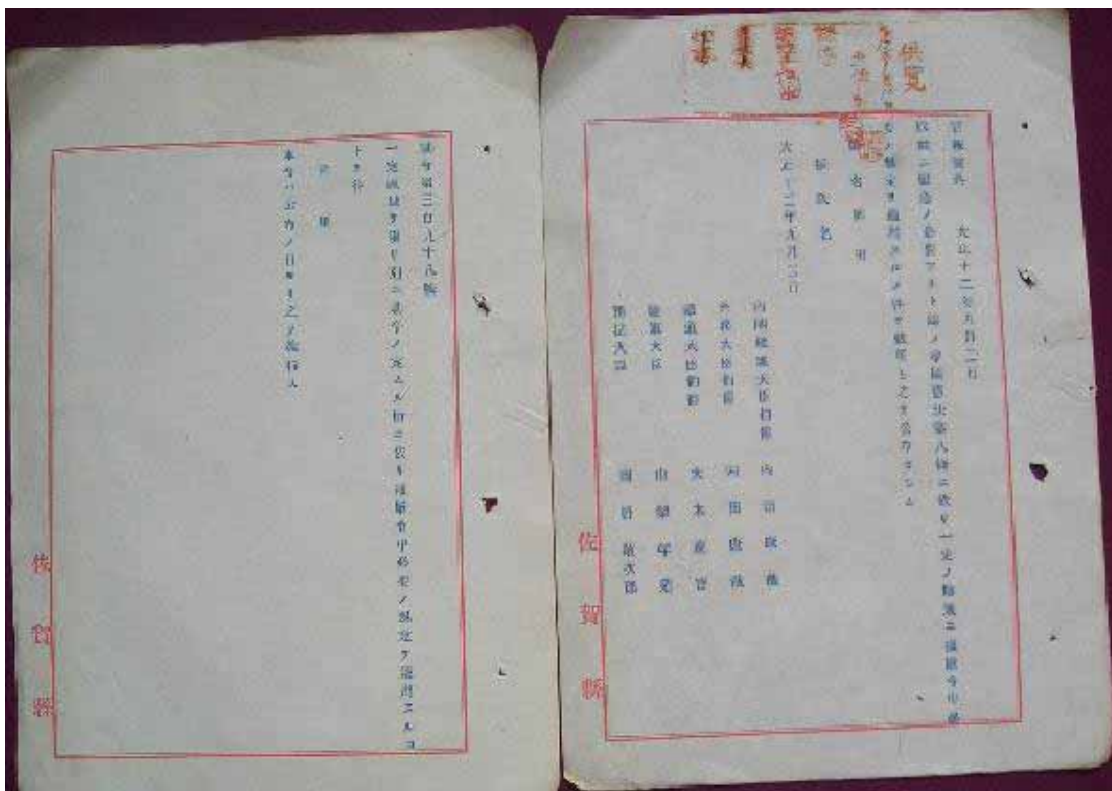
9月2日「非常徴発令」（勅令第三九六号）が発令されました。



(非常徴発令 (写))

第一条 大正十二年九月一日ノ地震ニ基ク被害者ノ救済ニ必要ナル食料、建築材料、衛生材料、運搬具其ノ他ノ物件又ハ勞務ハ内務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ非常徴発ヲ命スルコトヲ得

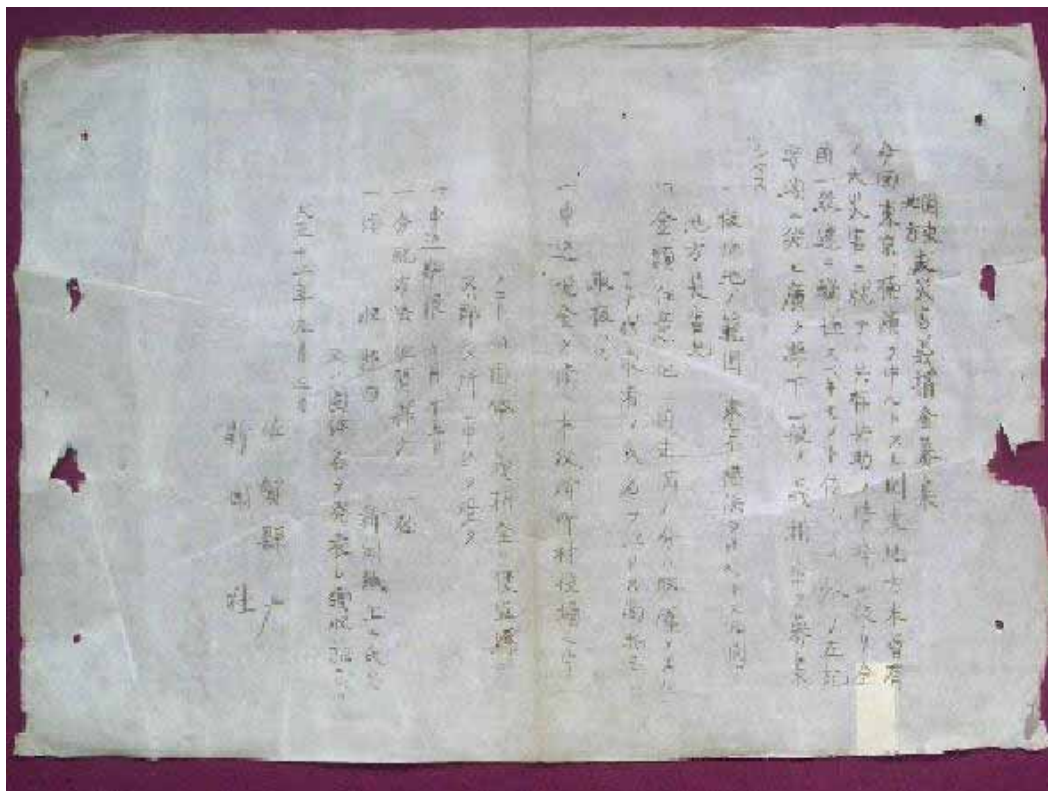
同日東京市・荏原郡・豊多摩郡・北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡に「戒厳令」(勅令第三百九十八号)が交付されています。



(戒厳令 (写))

一定区域ヲ限り別ニ勅令ノ定ムル所ニ依リ戒厳令中必要ノ規定ヲ適用スツコトヲ得

9月3日「関東地方大災害義捐金募集」を県内7社の新聞に掲載しています。



(義捐金募集広告原稿)

9月6日「震災地方救助物品取扱方の件」県内の郡市に対して救援物資の確保を通知しています。

一 精米ノ配給ニ関スル件

- 一 白米ヲ何時ニテモ買上ケニ應シ得ル様俵装ノ上各町村ニ準備セシムルコト (一俵ノ容量ヲ四斗トスルコト)
- 一 郡ハ別表ノ如ク各停車場ニ搬出スル數量ヲ各町村ニ割當テルコト (一町村参拾表注 ママ内外)

ニ 食料及日用品ノ配給調査ニ関スル件

左記食料品及日用品ニ付キ之レガ配給シ得ル數量ヲ調査シ急報スルコト

- 一 米
- ニ 奈良漬
- 三 ラッキョウ漬
- 四 タクワン漬
- 五 梅干
- 六 罐詰 (ダース)
- 七 乾製水産物 (煮乾ヲ含ム) 貫

- 八 パン類 斤
- 九 ビスケット 斤
- 十 麵類 斤
- 十一 紙（蘆紙） 締
- 十二 ローソク 斤
- 十三 茶碗

一 梅干寄贈ニ関スル件

- 一 一町村一樽以上トスルコト
- ニ 各町村ハ各戸ニ付約一合ノ寄附ニ依リ取集ムルコト

「関東地方災害ニ関スル件報告」

県内郡市長からの救援対応を示す市町村の組織編成・義捐金・救援物資の数量・寄贈者の住所氏名が報告されています。

佐賀市の場合、

義捐金 61,972円 梅干 13石1斗7升 衣類その他 15,335枚
雑品類 I, 063点 漬物類 10樽（4斗入り） 醤油 4樽（4斗入り）

県内義捐金総額は 401,257円33銭となっています（大正12年10月30日現在）。

9月5日、知事からの内務大臣あての電報は
物資の買占め、売り惜しみ、隠匿による暴利取締り権限を地方長官に付与する
よう要望
している。

9月6日、発議文書は

今回ノ関東地方大震災ニ関シ攝政宮殿下ヨリ総理大臣ニ別紙ノ通り御沙汰ヲ
賜ハリ御内帑金ヲ下賜セラル 尚総理大臣ヨリ別紙ノ通り告諭ヲ發セラレ候ニ
付……

別添には攝政宮（昭和天皇）から総理大臣に御内帑金壹千萬圓下賜されたこと、それに伴い内閣総理大臣山本権兵衛名で「内閣告諭第1号」（9月6日付け）を発しました。

東京及ビ近縣ニ至レリ今次ノ震災ハ伴フニ大震災ヲ以テシ惨害ノ甚ダシキコト
言語ニ絶シ日常ノ設備等全部烏有ニ帰シ焦眉ノ措置最モ急ヲ要ス……
……政府ハ全力ヲ擧ゲテ事ニ従フ所ナルモ又舉國一致ノ奮起強力ニ俟ツコト
ガ切ナリ希クハ罹災者ハ固ヨリ一般國民皆ヨク聖旨ノ渥キヲ奉体シ官民戮力以
テ仁慈ナル御沙汰ノ貫徹ヲ期シ各自相激勵シテ適應ノ處置ヲ誤ラズ此ノ異常ノ

災害ニ對シテ絶大ノ努力ヲ致サレンコトヲ 之レ本大臣ノ切望ニ絶エザルトコロナリ

佐世保鎮守府「震災雑報」(1～8号・9月4日～8日)

時間ごとの被災地の状況及び海軍の対応速報が佐世保鎮守府から送られています。

臨時震災救護事務局設置以来ノ設置概要

衛生材料・食料品・日用品等の救援物資依頼、鉄道輸送無料取扱、郵便貯金の支払延期・交通混雑による被災地への移動制限・救護用確保のための自動車用油類」の節約配慮等の電文

「震災被害状況並救護施設概要」(臨時災害救護事務局総務部作成大正12年10月10日 調)

東京府、神奈川県、千葉県、埼玉県、山梨県、静岡県、茨城県の
死者98,408名 傷者103,513名 行衛不明42,671名 計244,592名
死者、傷者、行衛不明以外の罹災者2,874,617名 罹災者総数3,119,209名
とされています。

義捐金は 内地 36,468,354円15銭 外国 8,920,301円17銭

義捐品見積価格 内地 約18,361,000円 外国 約7,850,000円

が寄せられています。

その他、警備・物資配給・収容施設・衛生医療・交通運輸通信・情報発行の状況が報告されています。

その他

- ・ 孤児・貧児及び無縁の老人収容に関する件
- ・ 震災に因る失業者救済に関する施設事項の件
- ・ 罹災者帰郷調査報告
- ・ 東京市長より感謝状周知方の件
- ・ 各県から送られた救援関係報告書

など94件の文書が一括されています。